

令和2年(2020) 県政記録 いしかわ



はじめに

令和2年は、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、本県でも2月に初めての感染が確認されて以降、県政を取り巻く状況が一変しました。こうした事態に対して、検査・医療提供体制の確保など様々な感染防止対策を講じてきました。また、医療従事者や関係者をはじめ、全ての県民の皆様に感染拡大の防止に取り組んでいただきました。皆様方のご協力・ご尽力に心から感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は本県の地域経済に大きな打撃を与えました。厳しい経営環境にある事業者の皆様を支援するため、大規模な資金給付をはじめ、前例にとられない思い切った対策を講じるなど、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の正常化」の両立に全力で取り組んできた1年でありました。

さらに、北陸新幹線については、金沢・敦賀間の工期の遅延と事業費の更なる増加という異例の事態も発生しました。

一方、このような状況の中でも、東京オリンピックを見据えて整備を進めてきた施設が完成し、本県の新たな魅力が加わった1年でもありました。

6月にオープンした金沢港クルーズターミナルは、6月のオープンから半年あまりで50万人を超える方々にご来館いただき、新たな賑わいの拠点となっています。

また、7月には金沢城公園鼠多門・鼠多門橋が完成しました。これにより、武家屋敷跡から本多の森公園までを結ぶ加賀百万石回遊ルートが形成され、都心部の回遊性が向上しました。

さらに、10月には日本海側初の国立美術館として国立工芸館が東京から移転・開館し、「工芸王国」石川に新たな厚みが加わりました。

この県政記録は、こうした令和2年における県政の成果をまとめたものです。幅広くご活用いただき、県政に対してより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



目次

令和2年県政の主な出来事	ページ
1月	2
2月	4
3月	6
4月	10
5月	12
6月	14
7月	16
8月	20
9月	22
10月	24
11月	26
12月	28
石川県民の歌	30

<表紙写真>
(上) 金沢城公園 鼠多門・鼠多門橋
(下) 金沢港クルーズターミナル

1月の 主な出来事

●豚熱防止総合対策（～12月）

11日 ●防災士スキルアップ研修
(19日、25日、2月2日、9日、16日、
7月18日、19日、8月1日、2日、8
日、9日、29日、30日)

●「冬の観能のタベ」公演
(25日、2月1日、8日)

15日 ●「純石川産」ライチョウの公開

22日 ●新しい酒米の愛称を「百万石乃白」に決定

24日 ●金沢城・兼六園四季物語
(～2月2日、8日～16日、3月30
日～4月5日、7月18日～19日、
23日～25日、31日～8月1日、7
日～9日、14日～15日、21日～
22日、9月19日～21日、10月24
日～25日、11月7日～29日)

28日 ●いしかわ歴史遺産の認定

29日 ●中川産業(株)進出表明

31日 ●金沢の冬の誘客イベント「冬の
夜のマジカルセッション」出逢
い!(～2月9日)

豚熱防止総合対策（～12月）



豚へのワクチン接種の様子

平成30年9月の岐阜県の養豚場での豚熱発生以降、令和元年7月の福井県における豚熱感染確認を受け、本県でも野生イノシシの検査を行い、8月に県内で初めて野生イノシシの感染が確認されました。

野生イノシシの侵入防止柵や野鳥等の侵入防止ネットの設置をはじめとする豚熱防止緊急総合対策に取り組んできましたが、令和2年においては、豚熱防止総合対策を実施しました。

防災士スキルアップ研修

(11日、19日、25日、2月2日、9日、16日、7月18日、19日、
8月1日、2日、8日、9日、29日、30日)

自助・共助による地域防災力の強化を図ることが重要であるため、防災士による活動の質の向上を図ることを目的として、活動の実例を学ぶ初任者研修や、最新の防災対策等について学ぶ定期研修を実施しました。



「純石川産」ライチョウの公開（15日）

いしかわ動物園では、昨年の春から繁殖の取組を開始し、昨年7月には繁殖行動から産卵、ふ化まで一貫して行った「純石川産」ライチョウ6羽が誕生しました。

1月15日からいしかわ動物園の「ライチョウの峰」で「純石川産」ライチョウの公開展示が始まりました。



新しい酒米の愛称を「百万石乃白」に決定（22日）

県が11年の歳月をかけて開発した酒米の新品種「石川酒68号」の愛称を、「百万石乃白（ひゃくまんごくのしろ）」に決定しました。

「百万石乃白」という愛称には、たくさんの思いが込められています。「百万石」は加賀百万石にちなんで石川県の酒米であること、「白」には混じりけのない純粋な様から、特長であるすっきりとした味わいや精米された酒米の白さ、仕込み時期の冬景色が表現されています。



いしかわ歴史遺産の認定（28日）

いしかわ歴史遺産は、全国に石川県の魅力を発信し、観光誘客や地域活性化を図ることを目的に、世代を超えて受け継がれている歴史、伝承、風習や有形・無形の文化財をそれぞれ関連づけて、その魅力をわかりやすく説明したストーリーを認定するもので、県が平成27年度に創設した制度です。

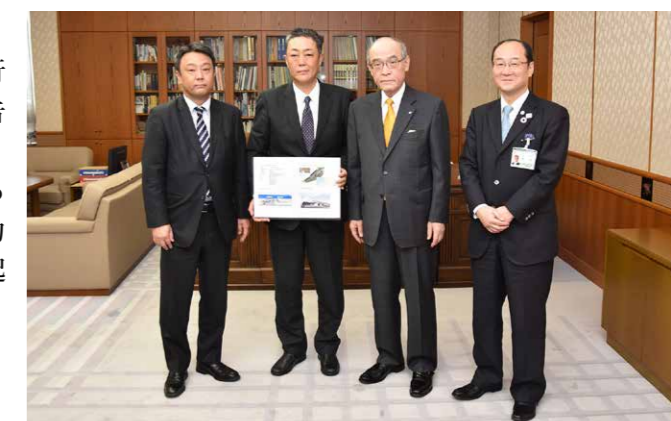
5年目となる今回は、中能登町の「能登の山岳信仰の霊場～石動山と山麓の歴史遺産～」を認定し、これまで認定したものと合わせて、計14件の認定となりました。



中川産業(株)進出表明（29日）

愛知県に本社を置き、観光バスの内装部品の製造を行う中川産業から、小松市に生産拠点を開設する旨の報告がありました。

同社の顧客であるジェイ・バスの近隣に工場を設けることで、運送コストの低減を図るとともに、同社の主力工場が東海地方に集中していることから、万一災害が起こった際のリスク分散を図ることを目的としています。



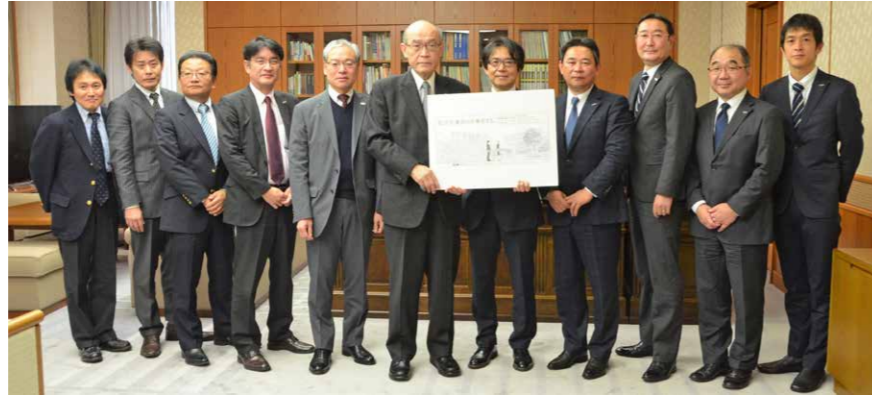
2月の 主な出来事

- 2日 ●新型コロナウイルス感染症による
小松空港国際線の運休・減便開始
- 3日 ●災害時の要配慮者対策に関する研
修会
- SCSKニアショアシステムズ(株)進
出表明
- 4日 ●金沢城二の丸御殿調査検討委員会
調査検討結果の知事報告
- 7日 ●いしかわ伝統工芸フェア2020
(~9日)
- いしかわ百万石マルシェ2020冬
- 12日 ●石川県国民保護図上訓練
- 21日 ●新型コロナウイルス感染症対策本
部会議(他21回)
- UHT(株)増設表明

SCSKニアショアシステムズ(株)進出表明 (3日)

東京都に本社を置く、SCSK ニアショアシステムズから、金沢市内のオフィスビルに情報システムの保守・運用を行う拠点を開設する旨の報告がありました。

本県に高等教育機関が集積しており、優秀な人材の地元就職が期待できることや、地元IT企業の協力が見込めることなどが評価されたものです。



金沢城二の丸御殿調査検討委員会 調査検討結果の知事報告 (4日)

金沢城二の丸御殿の復元可能性について調査検討を行う、「金沢城二の丸御殿調査検討委員会」の調査検討結果について、報告がありました。



<報告の内容>

- ・「表向」の復元整備を進めることは可能。
- ・「御居間廻り」や「奥向」は引き続き調査検討が必要。
- ・新たに確認された内装等に関する史料は内部の復元に大きく寄与。
- ・史料等の更なる収集や障壁画の調査等が課題。



二の丸広場



建築物の調査 (中村神社拝殿)

令和2年度には埋蔵文化財の発掘調査に着手し、表向の玄関周辺で柱の礎石を支える基礎部分の遺構を13カ所で確認し、二の丸御殿表向の位置を概ね特定することができました。また、史料や建築物、美術品等の調査では、金沢市内の中村神社の拝殿において、御殿から移された能舞台や表向の書院の天井、天井画の実物を確認しました。

この他、史跡の保存・活用のマスタープランともいえる「史跡金沢城跡保存活用計画」について、二の丸御殿の復元整備を盛り込んだ計画として取りまとめるとともに、「二の丸御殿の復元整備に向けた基本方針」を策定し、次年度はこの方針に沿って御殿の復元整備事業に着手する予定です。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (21日 他21回)



新型コロナウイルス感染症患者が県内で初めて確認されたことを受け、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。その後、状況の変化に対応するため同会議を21回開催しました。

<概要>

- ・2月21日 第1回：新型コロナウイルス感染症患者の県内発生
- ・2月23日 第2回：新型コロナウイルス感染症患者の県内発生
- ・2月27日 第3回：イベントの対応方針、県立学校の卒業式の対応 等
- ・3月10日 第4回：イベントの対応方針 等
- ・3月20日 第5回：令和元年度第3次3月補正予算案、感染症対策室の設置、イベントの対応方針 等
- ・3月27日 第6回：県立学校再開ガイドラインの策定、イベント対応方針 等
- ・4月1日 第7回：イベントの対応方針、感染拡大地域への移動自粛要請 等
- ・4月3日 第8回：公立小・中・高等学校、県立特別支援学校の入学式・始業式 等
- ・4月6日 第9回：産業界、大学等への協力要請、県立学校の臨時休校 等
- ・4月10日 第10回：新型コロナウイルス感染症対策機動班の創設、イベント対応方針、県有施設の休館・休園 等
- ・4月13日 第11回：石川県緊急事態宣言 等
- ・4月16日 第12回：特措法に基づく緊急事態措置を実施すべき対象区域への追加
- ・4月20日 第13回：石川県緊急事態措置
- ・4月30日 第14回：特定警戒都道府県の指定、マスク購入斡旋、休業協力金の支給 等
- ・5月4日 第15回：緊急事態措置の延長 等
- ・5月14日 第16回：モニタリング指標の設定、県有施設の一部再開 等
- ・5月19日 第17回：国の緊急事態宣言の解除、県有施設の再開、6月補正予算の編成 等
- ・5月27日 第18回：イベントの開催方針、外出自粛の段階的緩和 等
- ・8月4日 第19回：新型コロナ対策取組宣言(ステッカー)、お盆の帰省に関するお願い 等
- ・8月12日 第20回：病床数の増加、新しい生活様式の徹底、業種別ガイドラインの遵守 等
- ・9月18日 第21回：検査体制の拡充、インフルエンザワクチンの接種、イベントの開催方針 等
- ・12月21日 第22回：年末年始の対応 等

3月の 主な出来事

●行政経営プログラム2020の策定

●金沢港機能強化整備事業・無量寺岸壁再整備事業の完成

2日 ●県立学校の一斉臨時休校(休校期間は一部の学校を除き、～19日、4月9日～5月29日)

6日 ●アンテナショップいしかわ百万石物語・江戸本店のリニューアルオープン

9日 ●新型コロナウイルス感染症による小松空港国内線の運休・減便開始

10日 ●七尾市中島町河崎 河崎地すべり対策事業の完成

12日 ●輪島市堀町 夕陽ヶ丘地すべり対策事業の完成

13日 ●能登町小間生 小間生地すべり対策事業の完成

15日 ●金沢競馬における無観客競馬(～9月22日)

18日 ●鶴ヶ丘団地県営住宅1号棟Aの完成

20日 ●健康福祉部「感染症対策室」を設置

●県立中央病院建設工事の完工式

23日 ●いしかわ子ども総合条例の改正

24日 ●石川県緊急事業継続会議

25日 ●能登町姫 姫2号県単土流対策事業の完成

●金沢市天神町 天神町急傾斜地崩壊対策事業の完成

●新型コロナウイルス感染症特別融資の創設

26日 ●災害救助犬審査会

●TANIDA(株)増設表明

●雇用調整助成金個別相談会

●「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」の制定(施行:4月1日)

27日 ●(株)ミンラック進出表明

31日 ●「いしかわエンゼルプラン2020」の策定

●いしかわレッドデータブック2020の発行

●いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)を通じた移住者数が開設4年間で1,400人を突破

金沢港機能強化整備事業・無量寺岸壁再整備事業の完成

近年、金沢港は、コンテナ取扱量やクルーズ船の寄港数が大きく増加してきたことから、貨物とクルーズのハード面における機能強化を図るため、平成29年9月に「金沢港機能強化整備計画」を策定し、国直轄による無量寺岸壁再整備事業に合わせて整備を進め、令和2年3月に工事が完成しました。



(1) 金沢港機能強化整備事業

- ・金沢港クルーズターミナル
- ・コンテナ上屋の移転・集約(東部工業用地)
- ・港内道路、駐車場等

(2) 無量寺岸壁再整備(国直轄事業)

- ・岸壁(改良)

アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」のリニューアルオープン(6日)



新たな運営事業者としてジェイアール東日本企画を公募により選出し、店内外を改装の上、3月6日にリニューアルオープンしました。

<リニューアル概要>

- ・地酒や海の幸を使った各種加工品などを販売する地下1階のスペースを拡充
- ・伝統工芸体験をはじめとするイベントで活用するため、2階イベントスペースを拡充



県立中央病院建設工事の完工式(20日)

県民に信頼される高度専門病院を目指して平成22年度から進めてきた県立中央病院建設事業が全て完了し、20日に完工式を実施しました。

<施設概要>

建設場所: 石川県金沢市鞍月東2丁目地内

敷地面積: 88,099 m²

延床面積: 62,248 m²

構造: 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)

階数: 地下1階/地上10階、屋上ヘリポート

病床数: 630床

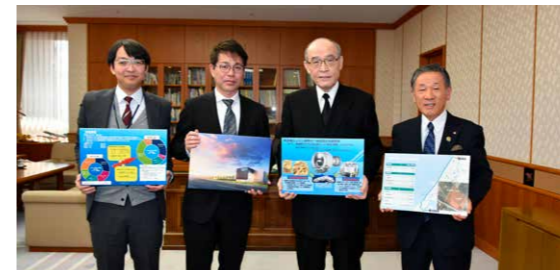
駐車台数: 来院者用900台、職員用900台



TANIDA(株)増設表明(26日)、(株)ミンラック進出表明(27日)

航空機部品等を製造するTANIDA(タニダ)から、かほく市に土地を取得し、新工場を建設する旨の報告がありました。同社が得意とするアルミ鋳造技術を用いた航空機エンジン部品および今後の市場拡大が見込まれる半導体製造装置部品の増産体制の確立を図ることを目的としています。

また、マスクの開発・製造を行うミンラックから、志賀町の能登中核工業団地内に生産拠点を開設する旨の報告がありました。国内産マスクの需要の高まりを受けて、安定した品質の商品を効率的に製造することを目的としています。



TANIDA 増設表明



ミンラック外観

「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」の制定(26日、4月1日施行)

本県には、ブドウ「ルビーロマン」や原木しいたけ「のとてまり」、「能登とり貝」など量は多くないものの、優れた特長を有する農林水産物が数多く生産されている。これら魅力ある農林水産物のブランド化をより一層進め、農林水産物を産業として発展させるとともに、本県の魅力向上につなげるため全国初となる「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」を制定しました。



新型コロナウイルス感染症対策

【感染拡大防止に向けた対応】

- 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
(2月21日他21回)
- 県立学校の一斉臨時休校
(休校期間は一部の学校を除き、3月2日～19日、4月9日～5月29日)
- 県有施設の休館・休園(4月11日～5月31日)
- 厚生労働省へのクラスター対策班派遣要請(4月11日～14日、24日～26日、5月11日～15日)
- 「石川県緊急事態宣言」発出(4月13日)
- 新型コロナウイルス感染拡大に係る石川県緊急事態措置(4月16日～5月31日)
- 施設の使用停止要請、石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金の創設(使用停止要請:4月21日～5月31日、協力金創設:4月30日)
- 自衛隊への災害派遣要請(4月27日～5月3日)
- 石川県新型コロナウイルス感染症対策支援基金の設置(7月2日)
- 石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議及び中間提言の提出(専門家会議:7月10日、8月7日、9月7日)(中間提言の提出:9月11日)
- いしかわクラスター対策班発足式(10月7日)
- いしかわ福祉施設相互応援ネットワークの運用開始(10月29日)

【検査・医療提供体制の強化】

- 無症状・軽症者用宿泊療養施設の開設(4月16日)
- いしかわPCR検体採取センターの開設(6月8日)
- 病床確保計画の策定(7月10日)
- 新型コロナウイルス感染症の検査に関する集合契約の締結(9月7日)
- 石川県発熱患者等受診相談センターの開設(10月30日)

石川県緊急事態宣言発出(4月13日)

2月21日に県内で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、2月、3月には、県外出張や海外渡航歴のある方の感染が確認されました。4月に入り複数の業種でクラスター(患者間の関連が認められた集団)が同時に発生したことや感染経路不明患者の増加などにより感染者が急増しました。こうした事態の急変によって、患者を受け入れる医療機関では、一時的に病床に余裕がない状況になりました。このため、県では、4月13日に独自の「石川県緊急事態宣言」を発出し、県民の皆さまに対して不要不急の外出自粛など、人と人との接触回避の徹底を呼びかけました。



無症状・軽症者用宿泊療養施設の開設(4月16日)

県では、重症者や重症化するおそれのある感染者の病床を確保するため、軽症や無症状の感染者に療養いただくホテルを借り上げ、4月16日から無症状・軽症者用宿泊療養施設として運用を開始しました。

県医師会と県看護協会のご協力を得て、施設では、看護師2人が常駐するとともに、医師1人が巡回、または、常時連絡が取れ、出勤要請に応じられる体制を整えました。



新型コロナウイルス感染者が搬送されるホテル

いしかわPCR検体採取センターの開設(6月8日)

新型コロナウイルス感染症のPCR検査体制の強化を図るため、県では、屋内施設で車に乗ったまま検体を採取する「いしかわPCR検体採取センター」を開設しました。

感染が疑われる人は、乗車したままセンターに入り、問診を受け、鼻の奥の粘液を検体として提供し(左写真)、採取した検体は、県保健環境センター等で検査を行う体制を整えました。



検体採取の様子(デモンストレーション)

PCR検査の様子

いしかわクラスター対策班発足式(10月7日)

病院や高齢者施設など重症化のリスクが高い方が多い集団で新型コロナウイルスの感染が確認された場合に、現場で支援を行う「いしかわクラスター対策班」の発足式を10月7日に行いました。

施設などで感染が確認された際に、感染拡大を防止するため、医師や看護師等で構成される対策班を迅速に派遣し、施設内のゾーニングや消毒といった感染管理や、必要に応じた医療支援を行う体制を整えました。



【事業継続や雇用の維持に対する支援】

- 新型コロナウイルス感染症特別融資の創設(3月25日)
- 雇用調整助成金個別相談会(3月26日～)
- 県税における徴収猶予の特例制度の開始(4月30日)
- 新型コロナウイルス感染症緊急特別融資の創設(5月1日)
- 感染拡大防止対策支援金の創設(5月18日)
- 再就職支援の開始(6月29日)
- 石川県経営持続支援金の創設(6月30日)
- 能登牛の学校給食での提供開始(7月15日)
- 石川県家賃支援給付金の創設(8月11日)
- 海女採りさざえの学校給食での提供開始(10月16日)

【事業者の前向きな取り組みへの支援】

- 新分野チャレンジ緊急支援費補助金の創設(5月18日)
- 経営イノベーション応援プログラム事業の創設(7月1日)
- オンライン商談会の開催(国内:9月10日～、海外:12月7日～)

【移動の段階的緩和などを踏まえた社会の正常化への対応】

- 県民向けマスク購入券の配布(5月11日～15日)、販売(5月18日～6月10日)
- 県民向け県内宿泊応援事業(6月8日～8月30日)
- 学習サポーターの配置、スクールサポートスタッフの大幅拡充(7月～)
- 「石川県新型コロナ対策取組宣言」の開始(8月7日)
- ふるさと納税返礼品贈呈の開始(8月17日)
- 「Go To いしかわ」特産品プレゼントキャンペーンの開始(9月1日)
- Go To Eat購入引換券の配布開始(10月12日)、販売開始(10月26日)

4月の 主な出来事

- オンラインを活用した就職・転職イベント(4月~12月)
- 石川酒米「百万石乃白」を使用した日本酒の市場デビュー(4月)
- 1日 ●県の組織機構を改革
 - 企画振興部「新幹線用地対策室」を廃止
 - 県民文化スポーツ部「国民文化祭準備室」を設置
 - 生活環境部「廃棄物対策課」を「資源循環推進課」に改称
 - 観光戦略推進部「新幹線県内全線開業PR推進室」を設置
 - 農林水産部「ブランド戦略推進室」、「畜産振興・防疫対策課」を設置
- 石川県消費生活支援センターの移転
- 石川県立伝統産業工芸館の通称「いしかわ生活工芸ミュージアム」の使用開始
- 「加賀の國」広域観光イベント(～令和3年3月31日)
- 能登ふるさと博(～令和3年3月31日)
- 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン(～11月30日)
- 流域下水道事業への公営企業会計の適用
- 3日 ●新型コロナウイルス感染症に係る公共交通機関緊急連絡会議
- 5日 ●国立工芸館竣工式
- 6日 ●交通安全県民運動(～15日、7月11日～20日、9月21日～30日、12月11日～20日)
 - 新型コロナウイルス感染症に係る県内大学等緊急連絡会議
- 9日 ●能登羽田便の運休(9日～)
- 11日 ●県有施設の休館・休園(～5月6日)
 - 厚生労働省へのクラスター対策班派遣要請(～14日、24日～26日、5月11日～15日)
- 12日 ●のと里山海道 上棚ゆずりレーンの延伸
 - 国道415号羽咋トンネル起工式
- 13日 ●「石川県緊急事態宣言」を发出
- 15日 ●いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド海外販路拡大枠の創設
- 16日 ●無症状者・軽症者用宿泊療養施設の開設
 - 新型コロナウイルス感染拡大に係る石川県緊急事態措置(～5月6日)
- 21日 ●施設の使用停止要請、石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金の創設(使用停止要請:21日～5月31日、協力金創設:30日)
- 27日 ●自衛隊への災害派遣要請(～5月3日)
- 30日 ●県税における徴収猶予の特例制度の開始

石川酒米「百万石乃白」を使用した日本酒の市場デビュー (4月)

県が11年の歳月をかけて開発した酒米「百万石乃白(ひゃくまんごくのしろ)」のロゴマークが発表されるとともに、百万石乃白を使用した日本酒が市場に本格デビューしました。

また、10月には、「百万石乃白ペアリングディナー」と題した、イベントも開催しました。



石川県立伝統産業工芸館の通称「いしかわ生活工芸ミュージアム」の使用開始 (1日)

東京国立近代美術館工芸館(通称:国立工芸館)を兼六園周辺文化の森に迎えるにあたり、県立伝統産業工芸館の位置づけを明確にし、より親しんでいただけるよう、通称を全国公募し、1日から「いしかわ生活工芸ミュージアム」の通称を使用開始しました。



国立工芸館竣工式 (5日)



日本海側初の国立美術館となる国立工芸館(正式名称:東京国立近代美術館工芸館)の竣工式を開催しました。国立工芸館の移転は、地方創生を推進するための政府関係機関の地方移転施策の一環として、本県が提案し、実現したものです。

建物は、国登録有形文化財の旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢偕行社を移築・活用。

7月18日からは開館にさきがけて、夜間のライトアップを開始しました。



のと里山海道 上棚ゆずりレーンの延伸 (12日)

のと里山海道は、能登地域の産業・経済の大動脈であると同時に、地域的生活道路として重要な役割を担っており、これまで、全線無料化や柳田IC以南の4車線化などに取り組んできました。

また、柳田IC以北の2車線区間における交通混雑の緩和を図るため、平成27年から柳田ICから上棚矢駄IC間の4車線化事業に着手し、このたび、のと里山海道最長となる3.4kmのゆずりレーンが完成しました。

これにより、安全かつ円滑な交通が確保されるとともに、能登と金沢の移動時間が短縮され、能登地域の更なる活性化が期待されます。



5月の 主な出来事

1日 ●新型コロナウイルス感染症緊急特別融資の創設

●県関係施設のブルーライトアップ
(~31日)

4日 ●石川県緊急事態措置の延長
(~31日)

●県有施設の休館・休園の延長
(~31日)

8日 ●「能登地域等サテライトオフィス立地促進補助制度」の創設(適用第一号としてシフトプラス(株)増設表明)

11日 ●県民向けマスク購入券の配布(~15日)、販売(18日~6月10日)

15日 ●高等学校の普通教室への冷房設備の整備完了

18日 ●感染拡大防止対策支援金の創設

●新分野チャレンジ緊急支援費補助金の創設

28日 ●AI・IoT実践道場の開講
(AI実践道場(5月28日~6月18日、10月7日~28日)IoT実践道場(7月8日~))

県関係施設のブルーライトアップ (1日~31日)

新型コロナウイルス感染症に対して、最前線で働いている医療従事者の方々に感謝の気持ちを表すため、石川門(金沢城公園)をはじめとする、県関係4施設を青色の照明でライトアップしました。



石川門(金沢城公園)



石川四高記念文化交流館



しいのき迎賓館



金沢港クルーズターミナル

「能登地域等サテライトオフィス立地促進補助制度」の創設(適用第一号としてシフトプラス(株)増設表明)(8日)



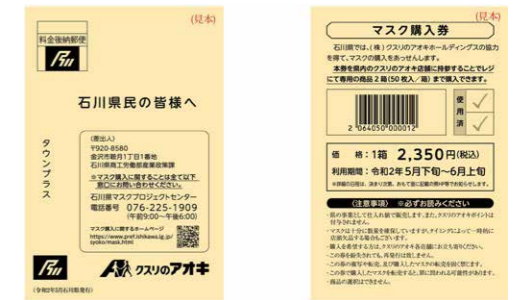
能登地域等サテライトオフィス立地促進補助制度の適用第一号として、ふるさと納税管理システムなど自治体向けのシステム開発を手掛けるシフトプラスより、輪島市のマリンタウン内に事業所を増設する旨の報告がありました。

県民向けマスク購入券の配布(配布:11~15日、販売:18日~6月10日)

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、品薄となっていたマスクの購入を斡旋するため、5月11日からマスク購入券を配布し、5月18日から販売を開始しました。

マスク購入券は1箱50枚入り2,000円のマスクが2箱まで購入できるもので、郵便局を通じて、県内全戸に1枚ずつ配布しました。県内のクスリのアオキで販売し、約35万箱を販売しました。

また、マスク購入に係る相談窓口として専用のコールセンターも設置しました。



AI・IoT 実践道場の開講

AI 実践道場 (28日~6月18日、10月7日~28日)

IoT 実践道場 (7月8日~)

AI・IoTの導入に向けた「人材育成面」の支援として、「AI実践道場」を28日~6月18日(第1クール)、10月7日~28日(第2クール)に開講しました。「AI実践道場」では、AI活用事例紹介、自然言語の分析、AIツール(音声認識)体験を行い、第1クールでは、オンラインを活用して行われました。

また、7月8日から「IoT実践道場」を開講しました。「IoT実践道場」では、座学と現場実践を組み合わせで行われ、令和2年度より、翌年2月まで開講する「標準コース」に加えて、新たに短期間で学ぶことができる「速修コース」(11月まで)が新設されました。



6月の 主な出来事

- 1日 ●金沢港クルーズターミナルのオープン
- 8日 ●いしかわPCR検体採取センターの開設
- 県民向け県内宿泊応援事業(～8月30日)
- 12日 ●いしかわECOアプリの運用開始
- 17日 ●奥能登2市2町への教育支援
- 19日 ●金沢中央観光案内所のオープン
- 日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」に白山市・志賀町が追加認定
- 24日 ●いしかわインターンシップフェス(夏:～30日(ウェブ)、冬:12月28日(対面イベント))
- 29日 ●白山火山防災訓練
- 再就職支援の開始(ILACに窓口の開設(新型コロナ関連緊急サポートデスク))
- 30日 ●石川県経営持続支援金の創設
- 白山市三坂町 三坂中通常砂防事業の完成

金沢港クルーズターミナルのオープン (1日)

1日、金沢港の新しい海の玄関口となる金沢港クルーズターミナルがオープンしました。

ターミナルにはCIQ(税関検査、入出国検査、検疫)エリア、待合エリアのほか、臨場感あふれる大迫力でクルーズ船の操船体験ができるシミュレーターがある「まなび体験ルーム」や、どの席からでも海を一望できる、海側が全面ガラス張りのレストラン、屋根付き展望デッキなど、一般の方も気軽に利用できる施設が備えられています。

※ CIQエリアはクルーズ船が来港しない時期は、イベントなどでも利用が可能です。



7月3日からは、ライトアップも開始しました。ライトアップは、クルーズターミナルから港を囲むように、加賀五彩の5色を5分ごとに色を変えながら照らしています。

いしかわ ECO アプリの運用開始 (12日)

日々の生活の中で気軽に楽しくエコ活動に取り組むことができる、いしかわ ECO アプリが12日に運用を開始しました。

アプリでは、実践するエコ活動を選択し、実施日を記録すると、取り組み結果を確認することができます。

そのほか、県が省エネ・節電などのエコ活動に応じて交付している、県内のスーパーやコンビニなどの協賛店で利用することができる「エコチケット」についても、いしかわエコアプリで申請できるようになりました。



金沢中央観光案内所のオープン (19日)



19日、都道府県をまたぐ移動の解禁に合わせて、金沢中央観光案内所がオープンしました。当案内所は長町武家屋敷から尾山神社を経て、金沢城、兼六園、本多の森公園に至る「加賀百万石回遊ルート」とホテルの建設が進んでいる国道157号との結節点に、新たな情報発信拠点として、整備しました。

施設内には外国語対応可能なコンシェルジュが案内を行う観光案内カウンターや、パンフレットなどを提供する観光情報コーナー、休憩スペースなどがあり、週末には伝統芸能の実演、伝統工芸の体験もしています。



日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」に白山市・志賀町が追加認定 (19日)

19日、平成29年度認定の日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」に白山市と志賀町が追加認定されました。県内ではこれまで、加賀市(平成29年度)、輪島市・小松市(平成30年度)、金沢市(令和元年度)が認定されています。

<白山市の主な構成文化財>



藤塚神社



おかえり祭(石川県指定無形民俗文化財)

<志賀町の主な構成文化財>



旧福浦灯台(石川県指定史跡)



奉納船絵馬群(志賀町指定有形文化財)

7月の 主な出来事

- 学習サポーターの配置、スクールサポートスタッフの大幅拡充
- 1日 ●いしかわ家庭版環境ISO「省エネ・節電アクションプラン」(~9月30日)
- 省エネ家電普及キャンペーン(~令和3年1月15日)
- 白山室堂公衆トイレの供用開始
- 経営イノベーション応援プログラム事業の創設
- 2日 ●石川県新型コロナウイルス感染症対策応援基金の設置
- (株)NTTデータスマートソーシング進出表明
- 8日 ●県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)
- 10日 ●石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(8月7日、9月7日)
- 病床確保計画の策定
- 15日 ●いしかわ就職企業ガイダンス2020夏(~18日)
- いしかわ耕稼塾開講式
- 能登牛の学校給食での提供開始
- 17日 ●いしかわの伝統芸能WEBシアターの配信開始
- 18日 ●「観能のタベ」公演(25日、8月1日、8日、15日、22日、29日)
- 兼六駐車場第1期建設工事完成式
- 金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の完成 ライトアップの拡充
- 22日 ●いきいきシニアドライブ相談会(9月3日、11日、17日、20日、25日、10月7日、13日、16日、29日、11月10日、18日)
- 26日 ●金沢港水産市場見学体験事業の開始
- 29日 ●河北潟干拓地「ひまわり村」開村式
- 30日 ●「ルビーロマン」大阪市場出荷10周年を記念したイベント(~31日)
- 31日 ●輪島市三井町長沢 トンナ谷川通常砂防事業の完成

白山室堂公衆トイレの供用開始 (1日)



老朽化により快適性や衛生面の改善を求める声が寄せられていた公衆トイレについて、白山を訪れる多くの登山者に、快適なトイレ環境を提供するための建て替え工事が令和元年度に完了し、夏山開きの1日より供用開始されました。

(株)NTT データスマートソーシング進出表明 (2日)



東京都に本社を置く、NTTデータスマートソーシングから、金沢市内のオフィスビルにコールセンターや事務処理業務の請負とシステム開発を行う拠点を開設する旨の報告がありました。

本県に高等教育機関が集積しており、優秀な人材の地元就職が見込めることや、新幹線や空港などの充実した交通アクセスが評価されたものです。

能登牛の学校給食での提供開始 (15日)



15日、穴水町の小学校で、石川県産ブランド和牛「能登牛」を使った給食が提供されました。

能登牛を使った学校給食は、新型コロナウイルス感染症の影響により低下した能登牛の需要回復を図るとともに、子どもたちに石川県が誇るブランド食材を味わって

もらうことで、県民の皆さんに魅力を伝えることを目的として、穴水町をはじめ、県内の小中学校等で順次実施されました。

いしかわ就職企業ガイダンス 2020 夏 (15日~18日)



全国的に合同企業説明会が中止となるなど、学生と企業の接点が減少し、就職活動に不安を抱える学生が増えている中で、15日から、企業の人事担当者が学生に自社の魅力や採用情報を説明する対面型の合同企業説明会を開催しました。

いしかわの伝統芸能 WEB シアターの配信開始 (17日)



新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な文化イベントの中止や延期が相次ぎ、文化団体の活動や県民の芸術鑑賞に大きな支障を来したことから、県内文化団体による一流の芸を本格的な舞台装置を備えた県立音楽堂邦楽ホールなどを活用して、無観客で披露する機会を設けました。収録した映像はインターネットなどで広く発信しました。

兼六駐車場第1期建設工事完成式 (18日)



兼六園下交差点の拡幅整備と合わせ、老朽化している兼六駐車場の建て替え工事を段階的に進めており、18日、第1期建設工事が完成供用しました。

建物は、5階建て、外観は、隣接する兼六園、金沢城公園と調和させるため、瓦や土壁を意識したグレーやベージュを基調とする外壁に格子を配し、金沢らしさを演出しています。

今後、第2期整備を進め、交通環境の改善と観光客の受入体制の充実を図ることとしています。

**金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の完成、
ライトアップの拡充 (18日)**



18日、復元整備した金沢城公園の鼠多門・鼠多門橋の一般供用を開始しました。

鼠多門は、全国の城郭建築では例のない、黒い海鼠漆喰（なまこじっくい）が特徴の門です。江戸時代前期には既に存在したとされており、明治期に焼失して以来およそ140年ぶりに復元されました。

また、鼠多門橋は城内最大規模の木橋であったと言われています。整備にあたっては、耐震性など現在の基準を満たすため鋼材を使用し、城郭景観との調和を図るため、外側を木で覆っています。

鼠多門・鼠多門橋の完成により、長町武家屋敷跡から尾山神社、金沢城公園、兼六園、本多の森公園を結ぶ延長約2kmの「加賀百万石回遊ルート」が形成され、ルート沿いにある重要文化財の建造物や美しい庭園を楽しむことができます。



さらに夜の魅力の向上を図るため、ライトアップを拡充したうえで、11月29日まで毎日ライトアップを行いました。

金沢港水産市場見学体験事業の開始 (26日)



26日から、金沢港クルーズターミナルに隣接する「かなざわ総合市場」において、県漁協と連携して市場内で行われるセリ見学などの体験事業を開始しました。

マイナス30℃の低温冷蔵施設の内部見学や、新鮮な魚介類の水揚げ風景、臨場感あふれるセリの見学などが体験できます。

県産水産物の魅力発信と金沢港の賑わい創出につながりました。



**「ルビーロマン」大阪市場出荷
10周年を記念したイベント (30日～31日)**



石川県オリジナルぶどうの「ルビーロマン」が大阪市場へ出荷を開始して10周年を迎えました。

そこで、大阪市場の関係者に対し、知事自ら感謝を伝えるとともに、今後のさらなる飛躍を期待して、記念式典や大阪市場初競時のトップセールスなど記念イベントを開催しました。



8月の 主な出来事

1日 ●いしかわ動物園のリニューアル
「オーストラリアの平原」オープン
(1日)
「ふれあい体験施設(仮称)」
建設工事の起工(9月26日)

7日 ●「石川県新型コロナ対策取組宣言」の開始

11日 ●石川県家賃支援給付金の創設

17日 ●ふるさと納税返礼品贈呈の開始

●いしかわミュージックアカデミー
「オンラインマスタークラス&コンサート」動画の配信開始

29日 ●備えて安心!いしかわ防災キャンペーン(~9月6日)

30日 ●石川県スポーツ優秀賞表彰式

31日 ●小松市上麦口町
上麦口急傾斜地崩壊対策事業の完成

●白帆台団地県営住宅第2期の完成

いしかわ動物園のリニューアル 「オーストラリアの平原」オープン (1日) 「ふれあい体験施設(仮称)」建設工事の起工 (9月26日)



1日、いしかわ動物園の「オーストラリアの平原」がリニューアルオープンしました。

展示エリア内に新たにウォークインゾーンを設けて、カンガルーと触れ合うことができるようになっています。その他にも動物を観察しやすくするため、様々な工夫を行っています。



9月26日には、「ふれあいひろば」において、動物とのふれあいを通じて子どもたちが動物の生態や命の大切さを学ぶことが出来る全天候型屋内施設「ふれあい体験施設(仮称)」の起工式が行われました。

「石川県新型コロナ対策取組宣言」の開始 (7日)

県内の飲食や観光事業者が、新型コロナウイルス感染症対策における業種別のガイドラインを遵守した感染予防対策を実践していることを、県民や観光客に分かりやすくアピールするため、7日から石川県新型コロナ取組宣言を開始しました。

取組宣言を行う施設・店舗の目印は、宣言書やステッカーになります。



ふるさと納税返礼品贈呈の開始 (17日)



17日から、県外在住者からのふるさと納税に対して、返礼品の贈呈を開始しました。

国が返礼品に対する基準を示したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による県産品の消費低迷を受け、本県の特産品を返礼品に活用することで、本県の魅力をPR強化するとともに、生産者や事業者の支援につなげました。

石川県スポーツ優秀賞表彰式 (30日)



30日、金沢港クルーズターミナルにおいて、スポーツの国際大会や全国大会で顕著な成績を収めた個人や団体に対する、石川県スポーツ優秀賞表彰式を行いました。

9月の 主な出来事

- 1日 ●「Go Toいしかわ」特産品プレゼントキャンペーンの開始
- 2日 ●石川県-コマツ-早稲田大学による包括連携協定締結式、運営コンソーシアム設立会議
- シャープ(株)進出決定
- 5日 ●ルビーロマン&加賀しずくフェア2020」特別企画 午後のティータイム〜ルビーロマン・加賀しずくとのひととき〜
- 6日 ●いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2020 秋の陣特別公演(〜12月25日)
- 7日 ●新型コロナウイルス感染症の検査に関する集合契約の締結
- 8日 ●国民文化祭基本方針に関する有識者会議(11月19日)
- 10日 ●オンライン商談会(国内:10日〜、海外:12月7日〜)
- 11日 ●石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の中間提言の提出
- 12日 ●のとじま水族館「国内最高齢のラッコ「ラスカ」の死亡」
- 13日 ●女性消防団員専門知識向上セミナー
- 14日 ●早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開講
- 15日 ●いしかわスポーツマイレージグループランキング機能の追加
- 29日 ●高松病院管理診療棟改築工事第1期工事の完成
- いしかわ百万石マルシェ2020秋
- 30日 ●珠洲市三崎町寺家 寺家急傾斜地崩壊対策事業の完成

「Go Toいしかわ」特産品プレゼントキャンペーンの開始(1日)

国の「Go Toトラベル事業」により喚起される観光需要を本県に取り込むため、同事業を利用して本県に宿泊される方々へ本県の特産品をプレゼントする「Go Toいしかわ」特産品プレゼントキャンペーンを開始しました。



石川県-コマツ-早稲田大学による包括連携協定締結式、運営コンソーシアム設立会議(2日) 早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開講(14日)

近年、IoT/AIを実装する高付加価値製品が市場で求められ、こうした製品を開発できる高度技術人材が不足していることから、これを担う高度技術人材を育成するため、(株)小松製作所と同社と協力関係にある早稲田大学と連携し、9月2日、石川県・コマツ・早稲田大学による包括連携協定締結式を行い、早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」運営コンソーシアム設立会議が開催されました。そして、9月14日、早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」を開講しました。



いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2020 秋の陣特別公演(6日〜12月25日)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった春の公演に代わり、9月6日から12月25日まで「いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭2020 秋の陣特別公演」を開催しました。



オンライン商談会(国内:10日〜、海外:12月7日〜)

オンラインによる商談に不慣れな企業向けに、地場産業振興センター内に、オンライン商談ができる会議室を整備し、9月10日から使用開始しました。

さらに、新型コロナウイルスの影響により、海外への渡航に制限がある中においても、県内企業に海外販路開拓の機会を提供するため、ウェブ会議システムを使用し、12月7日から複数日に渡りシンガポールバイヤーとのオンラインビジネス商談会を開催しました。



いしかわスポーツマイレージ グループランキング機能の追加(15日)

友人や会社の同僚などでグループを作ってもらい、互いに歩数を競い合う「グループ内ランキング」の機能と、グループ間で平均歩数を競い合う「グループ対抗ランキング」の機能を追加しました。

グループ内ランキング

順位	名前	歩数
1位	yawara	123,356 歩
2位	石川次郎	49,755 歩

身近な人と競い合うことでモチベーションアップ!

グループ対抗ランキング

順位	グループ名	平均歩数
1位	スポーツ振興課(3人)	57,668 歩
2位	株式会社Mont Blanc(3人)	38,454 歩

グループ全員で取り組み、ランキングの上位を目指す!

高松病院管理診療棟改築工事第1期工事の完成(29日)

県立高松病院の管理診療棟について、建築後50年以上が経過し、老朽化や狭隘化が進んでいることから、改築することとし、令和元年7月から建設工事に着手、令和2年9月29日に第1期工事となる管理棟、検査棟、リハビリ棟が完成しました。



10月の 主な出来事

- 1日 ●「いしかわパパ子育て応援キャンペーン」(～令和3年2月28日)
●海外アンテナショップの開設(～令和3年1月31日)
●木場湯公園東園地造成工事の本格化
- 5日 ●IRいしかわ鉄道の利用者が5,000万人を達成
- 7日 ●いしかわクラスター対策班発足式
- 8日 ●ツキノワグマの出没警戒情報の発令
- 9日 ●北陸新幹線に関する緊急要望(11月20日、12月11日)
●ライチョウの自然繁殖の成功
- 11日 ●のと里山海道 内灘白帆台IC
開通式
- 12日 ●食品王国いしかわ百万石マルシェ
●Go To Eat購入引換券の配布開始(販売開始:26日)
- 16日 ●海女採りさざえの学校給食での提供開始
- 17日 ●第42回石川の農林漁業まつり(～18日)
- 18日 ●いしかわ文化の日、いしかわ文化推進期間に各種事業を実施(～11月3日)
- 19日 ●北陸新幹線加賀温泉駅の駅舎の建築工事着手
- 23日 ●第67回日本伝統工芸展金沢展(～11月3日)
- 24日 ●国立工芸館の開館(一般公開開始:25日)
●金沢城シンポジウム「近世前期の金沢城-利常・綱紀の城づくり-」
- 27日 ●いしかわ環境展(～11月4日、11月26日～12月2日)
- 29日 ●いしかわ福祉施設相互応援ネットワークの運用開始
- 30日 ●石川県防災総合訓練(図上訓練)
●石川県発熱患者等受診相談センターの開設
●輪島市杉平町 杉平3号急傾斜地崩壊対策事業の完成
- 31日 ●百万石まちなかめぐりもみじ2020(～11月1日)

のと里山海道 内灘白帆台 IC 開通式 (11日)

11日、のと里山海道内灘白帆台IC(インターチェンジ)の開通を記念して、開通式を開催しました。本ICは、金沢方面のみ出入り可能なハーフインターチェンジですが、能登方面のみの内灘ICと合わせて実質的にフルインターチェンジとして機能することで、能登と金沢の双方の往来が容易となり、のと里山海道の利便性がさらに高まることが期待できます。



Go To Eat 購入引換券の配布開始、販売開始 (配布開始:12日、販売開始:26日)



食事券 (見本)

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店を支援する国の事業「Go To Eat」事業について、12日から県内で購入引換券を配布し、26日から県内の郵便局で販売を開始しました。



海女採りさざえの学校給食での提供開始 (16日)



16日、輪島市の小学校で、海女採りさざえを使った給食が提供されました。輪島の海女漁保存振興会会長から生徒たちに石川の文化財である海女漁の紹介があり、その後、海女採りさざえを使った給食をおいしく味わいました。



国立工芸館の開館

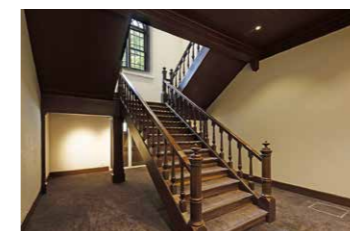
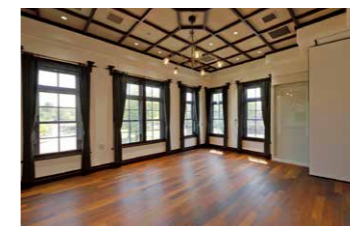
(開館記念式典:24日、一般公開開始:25日)



日本海側初の国立美術館となる、国立工芸館の開館を記念した式典を24日に開催し、25日、一般公開を開始しました。

国立工芸館は、国の地方創生施策の一環である政府関係機関の地方移転として、東京から金沢に移転したものです。

建物は、国登録有形文化財の旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢借行社を移築、復元して活用しており、重厚なケヤキづくりの階段、天井の漆喰レリーフ、アカンサスの葉をあしらった柱など明治期の洋風建築の特徴が表れています。



11月の 主な出来事

- 1日 ●いしかわパープルリボンキャンペーン2020(～30日)
●児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン(～30日)
●いしかわ教育ウィークで各種事業を実施(～7日)
●「いしかわ縁結び応援隊」との連携による婚活イベント(12月19日)
- 3日 ●石川食のてんこもりドライブスルーinクルースターミナル
- 7日 ●いしかわジュニアアートステージ(12月13日)
●東京2020オリンピック聖火歓迎セレモニー、聖火の展示
- 9日 ●北陸新幹線小松駅の駅舎の建築工事着手
- 11日 ●婚活イベント専用サイト「いしかわ縁結びイベント」の開設
- 12日 ●与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームへの報告内容に係る地元説明
- 14日 ●北陸新幹線県内全線開業実感ツアー
- 20日 ●金沢芸妓の舞(～令和3年3月18日)
- 22日 ●石川県原子力防災訓練
●「子育て支援メッセいしかわ2020」のオンライン開催
- 23日 ●都市計画道路 鳴和三日市線 中島大橋開通式
- 25日 ●石川県交通安全県民大会
- 27日 ●いしかわエコデザイン賞の贈呈
- 29日 ●金沢港開港50周年記念式典
- 30日 ●能登町 姫7号県単土石流対策事業の完成
●輪島市 門前町 是清3号県単土石流対策事業の完成
●小松市 麦口町 一ノ谷通常砂防事業の完成

東京2020オリンピック聖火歓迎セレモニー、聖火の展示(7日)

いしかわ総合スポーツセンターで、東京2020オリンピック聖火の来県を記念して、歓迎セレモニーを開催しました。

セレモニーには、知事や、聖火ランナーを務めるロンドン2012大会柔道女子金メダリストの松本薫さん、東京2020大会に出場が内定しているトランポリン代表の森ひかる選手など、約300名の方が参加。松本さんが聖火の灯ったランタンを持って登場すると、会場から大きな拍手が送られました。

また、11月7日から4日間にわたり、県内7会場でオリンピック聖火が展示され、8,000人を超える方が訪れました。



与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームへの報告内容に係る地元説明(12日)

12日、北陸新幹線金沢・敦賀間の工事について、国土交通省鉄道局長、鉄道・運輸機構理事長から与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームへ報告した内容の地元説明が行われました。

局長・理事長からは、現時点で約1年半工期が遅延しており、事業費が約2,880億円増額する見込みであること、検証委員会を設置し、工期短縮策、事業費縮減策の検討などを実施し、令和2年12月上旬までにとりまとめる予定であることについての説明がありました。



北陸新幹線県内全線開業実感ツアー(14日)

14日、県民の方々に北陸新幹線県内全線開業の実感を高めていただくため、県内全線開業についての講座と普段立ち入ることのできない工事現場の見学を合わせた実感ツアーを実施しました。



都市計画道路 鳴和三日市線 中島大橋 開通式(23日)

23日、都市計画道路 鳴和三日市線 中島大橋(4車線)の開通式を開催しました。同日、供用を開始しました。



金沢港開港50周年記念式典(29日)



29日、金沢港クルーズターミナルで、金沢港開港50周年記念式典を行いました。

式典では、金沢港のシンボルマークを発表したほか、スライドショーを用いて、開港から現在に至るまでの金沢港の歴史を振り返りました。

同日には、金沢港クルーズターミナルの入館者数が50万人を達成したことを記念し、知事と50万人目の入館者がくす玉を開披し、50万人目の入館者には記念品が贈呈されました。



12月の 主な出来事

1日 ●「石川県パバ子育て応援企業」認定制度の創設

●いしかわ工場・施設版環境ISOの登録

●「ジャパニーズビューティ北陸」キャンペーン(~3月31日)

2日 ●「いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」」認定書の交付

5日 ●金沢城公園埋蔵文化財調査の現地説明会

11日 ●アパレル産業連絡懇談会

16日 ●与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの申入れに対する、国土交通大臣からの回答

17日 ●「縁付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技:木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録決定

23日 ●旧山岸家住宅の重要文化財指定

25日 ●珠洲市宝立町鷺島 鷺島2号急傾斜地崩壊対策事業の完成

いしかわ工場・施設版環境 ISO の登録 (1日)

製造業や宿泊施設等を対象に、工場や施設における省エネを推進する、「いしかわ工場・施設版環境 ISO」登録証交付式を行いました。登録した企業は、設備の運用改善や更新など、より一層のエコを目指します。



金沢城公園埋蔵文化財調査の現地説明会 (5日)



金沢城二の丸御殿の復元整備に向けて埋蔵文化財の発掘調査を行っておりますが、5日、発掘調査(12月5日現在)の状況について現地説明会を行いました。説明会では、二の丸の発掘調査の現場を一般の方に公開して説明が行われました。



「縁付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技:木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録決定 (17日)

17日、「縁付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技:木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産の登録が決定しました。

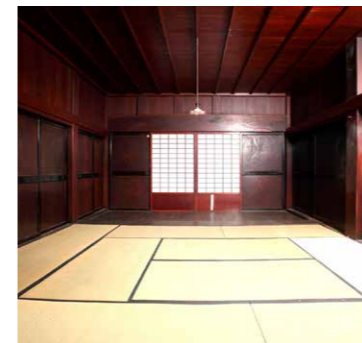
縁付金箔製造は、箔打ち専用の手漉(てすき)和紙を加工した箔打紙(はくうちがみ)に金を挟んで打ち延ばし、金箔を製造する技法です。石川県内では、2009年の「奥能登のあえのこと」、2016年の「青柏祭の曳山行事」、2018年の「能登のアマメハギ」に続く、4例目のユネスコ無形文化遺産となりました。



旧山岸家住宅の重要文化財指定 (23日)



旧山岸家住宅



白山市白峰地区のほぼ中央に位置する、旧山岸家住宅の4棟(主屋、板蔵、味噌蔵、浜蔵)が23日、国の重要文化財に指定されました。

旧山岸家住宅は白峰地区において伝統的な住宅形式を良好に伝える最上級の民家であり、その屋敷構えは、高い価値を有しています。



(写真提供:白山市)

石川県民の歌

行進曲風に

梅木宗一 作詞
窪田新一 作曲

16 *mf*
は く さ ー ん ー に ー あ さ ひ は
は え ー て ー あ お ぐ も ー の ー は れ
mp
ゆ く と こ ー ろ ー な に か お る
れ き し を つ ぎ て む す ば れ し ー わ れ ら け ん み ん
cresc *f*
や く し ん の ー は た を か ざ し て お お わ が
い し か わ ふ る い お こ さ ん ー

三、 日本海 希望の日 いでゆわき この国土 人の和に おおわが石川	二、 加賀平野 海山の うちつどう 工芸の はるかなる おおわが石川	一、 白山に 青雲の 名にかおる むすばれし 躍進の おおわが石川
北にひらけて 明けゆくところ 地はゆたかなり いよよ栄えて 世界を結ぶ 歌いたたえん	能登半島に さち呼ぶところ ちまたに野辺に 花咲きにおい 稲田はみのる ひらきのぼさん	朝日ははえて はれゆくところ 歴史をつぎて われら県民 旗をかざして ふるいおこさん

(昭和34年11月3日制定)



石川県旗

(昭和47年10月1日制定)

「石川」の文字と石川の地形をデザイン化したものです。地色の青は、日本海と豊かな緑・清い水・澄んだ空気という石川の恵まれた自然環境を表しています。



郷土の花 クロユリ

(昭和29年3月19日)

NHKが「郷土の花」として選んだもの。白山の弥陀ヶ原、室堂平（標高2,300～2,500メートル）付近に多く自生しています。風雪に耐えて咲くかげんな姿は、広く県民から親しまれています。



県鳥 イヌワシ

(昭和40年1月1日指定)

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、英語でジャパニーズ・ゴールデン・イーグルと呼ばれています。翼を広げると2メートルにもなる雄々しい姿と勇猛果敢な性格は、ますます躍進する石川県を象徴しています。
撮影：須藤一成



県の木 あて

(昭和41年10月1日指定)

緑の環境づくりと木を愛する心を広めようと、県民のみさなから募集して決めました。能登地方に多く生育するヒノキアスナロで、北陸地方では「あて」と呼んでいます。家具や建築材、輪島塗の素材にも多く使われています。

令和2年(2020)県政記録いしかわ

発行 令和3年3月

発行者 石川県広報広聴室
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076 (225) 1362

石川県ホームページ内
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/kouhou/kenseikiroku/index.html>

2020

県政記録いしかわ

